

○Web サイトにオプトアウトする書式

摂食嚥下障害患者における栄養管理についての検討

○研究の概要

急性期の摂食嚥下障害を有する患者さんの栄養状態の特徴を調べた報告では、低栄養および身体機能の低下を認めています。入院患者さんの治療を完遂するために、誤嚥・窒息予防のための早期発見・早期介入といった適切な栄養介入は重要な事項です。一方で、入院直後の不適切な食物形態の選択や、食物形態調整後に栄養摂取量を改善できない経験をするこもしばしばみられます。これらの頻度を明らかにし、課題を抽出することは栄養支援を行う上で重要です。

○研究の目的と方法

本研究の目的は、対象期間に嚥下分類 2-2 相当の食物形態（ペースト食）へ調整を行った患者さんの現状を把握することです。日常診療で得られた臨床データ（年齢、性別、身体所見や生化学検査など）を電子カルテから集計・統計分析を行う後ろ向き研究です。

○本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございました際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

○調査する内容

本研究は、令和 6 年 2 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日の期間中、国立病院機構熊本医療センターに入院し嚥下分類 2-2 相当の食物形態（ペースト食）を喫食された患者さんを対象としています。新たに試料・情報を取得することはなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究終了後の収集したデータは、鍵をかけたファイルにて 5 年間保管ののち、破棄いたします。

○実施期間

研究対象期間：令和 6 年 2 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 8 年 3 月 31 日まで

○研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室
加來正之

○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 加來正之

○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 加來正之
電話：096-353-6501